

## 財政収支(1-10月)

(1) 1-10月の歳入は前年同期比34.3%増、税収は同38.0%増。歳出は前年同期比22.2%増。  
 (2) 結果として1-10月の財政収支は784.99億リラの赤字(前年同期比46.0%増)、プライマリーバランスは780.74億リラの黒字(同401.4%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2020年1-10月(A)	2021年1-10月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	8,221.88	11,045.72	34.3%
税収	6,553.45	9,045.45	38.0%
所得税	1,262.50	1,719.95	36.2%
法人税	788.28	1,278.81	62.2%
付加価値税(国内及び輸入)	1,778.41	2,997.36	68.5%
特別消費税	1,642.77	1,674.24	1.9%
その他税収	1,081.49	1,375.09	27.1%
税外収入等	16.68	20.00	19.9%
歳出(b)	9,677.61	11,830.72	22.2%
人件費	2,447.93	2,918.18	19.2%
物品及びサービスの購入	635.71	842.72	32.6%
経常移転	4,113.47	4,812.29	17.0%
資本支出	589.15	769.80	30.7%
支払利子(c)	1,195.81	1,565.73	30.9%
その他歳出	695.54	922.00	32.6%
財政収支(a-b)	▲ 1,454.83	▲ 784.99	46.0%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 259.01	780.74	401.4%

## 経常収支(1-9月)

(1) 1-9月の経常収支は、117.38億ドルの赤字(前年同期は283.13億ドルの赤字)。  
 (2) 1-9月の貿易収支(物品)は203.12億ドルの赤字で前年同期から赤字幅縮小、旅行収支は132.82億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

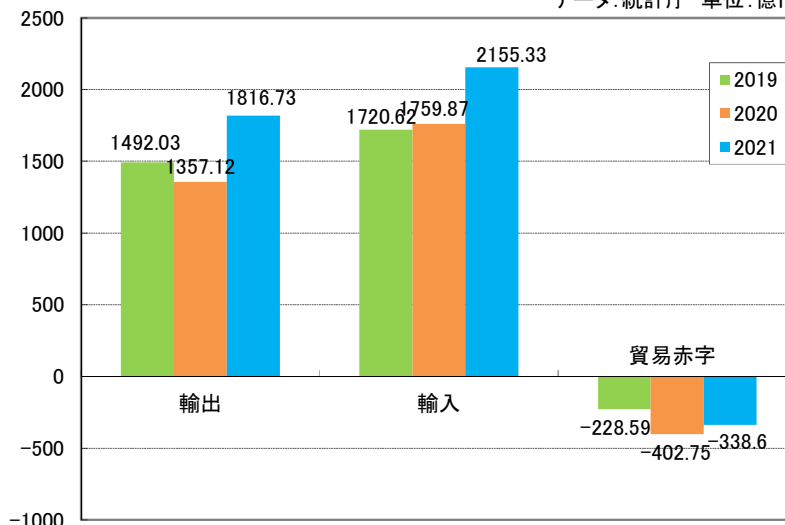
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2020年1-9月(A)	2021年1-9月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 283.13	▲ 117.38	58.5%
貿易収支(物品)	▲ 293.50	▲ 203.12	30.8%
サービス収支	78.08	169.18	116.7%
旅行収支	60.37	132.82	120.0%
第1次所得収支	▲ 67.93	▲ 91.40	▲ 34.6%
第2次所得収支	0.22	7.96	3518.2%
労働者送金	1.32	1.45	9.8%
資本移転等収支	▲ 0.25	▲ 0.62	▲ 148.0%
金融収支	▲ 361.64	17.16	104.7%
直接投資	▲ 31.87	▲ 56.00	▲ 75.7%
証券投資	167.95	▲ 64.43	▲ 138.4%
その他投資	▲ 71.38	▲ 190.41	▲ 166.8%
外貨準備	▲ 426.34	328.00	176.9%
誤差脱漏	▲ 78.26	135.16	272.7%

## 貿易収支(1-10月)

(1) 1-10月の輸出額は1,816.73億ドル(前年同期比33.87%増)、輸入額は2,155.33億ドル(同22.47%増)となり、この結果、貿易収支は338.6億ドルの赤字(同15.93%赤字幅縮小)となった。  
 (2) 1-10月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.7%(前年同期は41.4%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は32.3%(前年同期は32.7%)となっている。

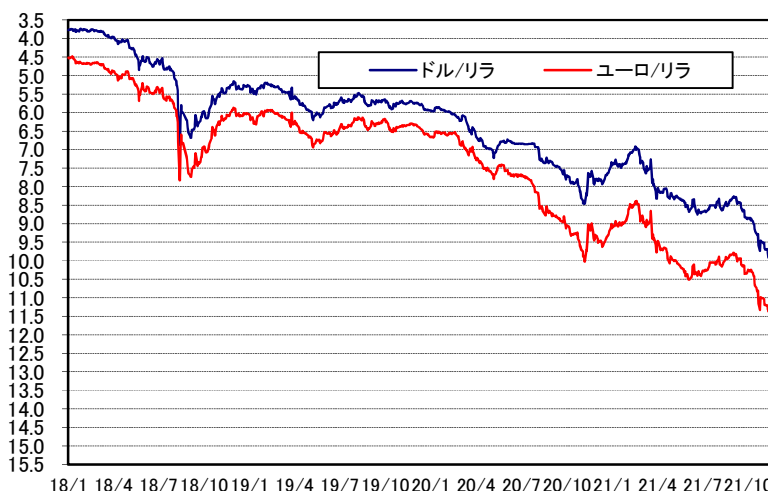
データ:統計庁 単位:億ドル



## 為替(11月)

エルドアン大統領による発言(利下げ要請、新しい経済政策)や18日の金融政策委員会で政策金利1%引き下げたことが主な要因となり、結果史上最安値を記録を更新した。月末は1ドル=12.93リラ(前月末比26.7%安)、1ユーロ=14.67リラ(同25.1%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ



## 消費者物価上昇率(10月)

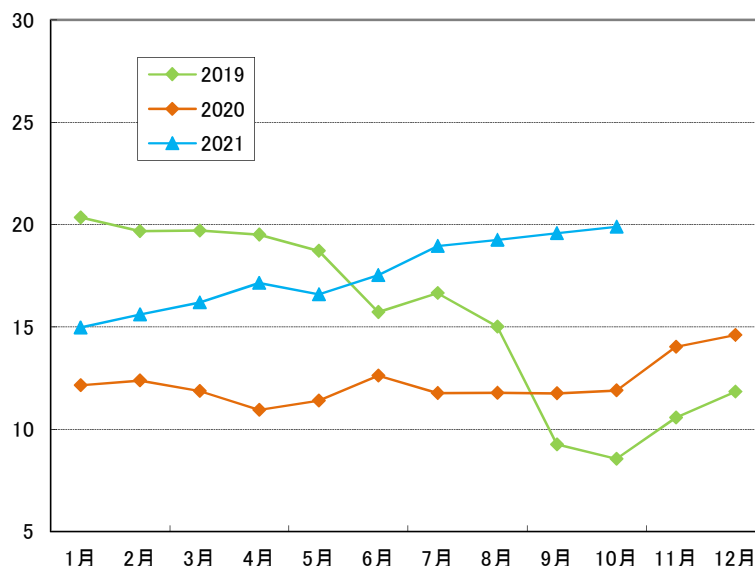
(1)10月の消費者物価は前年同月比19.89%増、前月比2.39%増。

(2)項目別にみると、前年同月比27.41%で食品・非アルコール飲料が、前月比7.56%で衣類及び履き物が最も上昇した。

(3)2021年末のインフレ率の中銀目標(10/28時点)は前年同月比18.4%。

(4)国内生産者物価指数は前年同月比46.31%増、前月比5.24%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



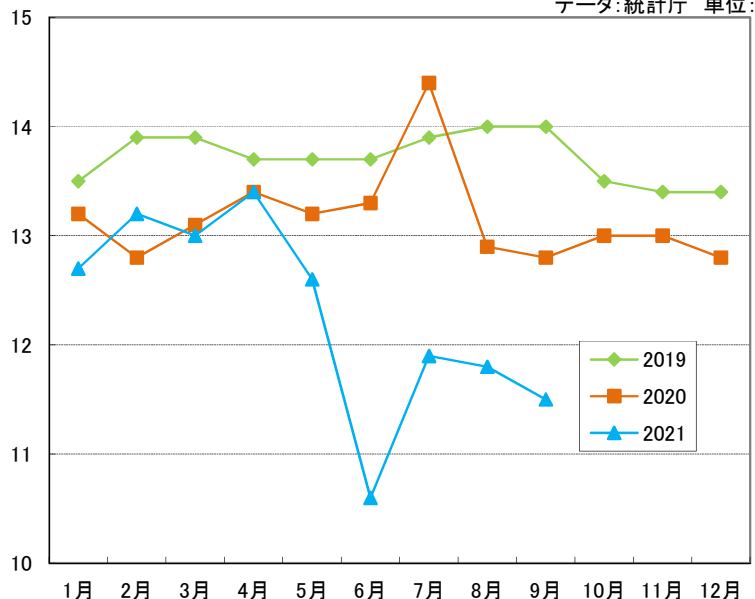
## 失業率(9月)

(1)9月の失業率(季節調整後)は11.5%。前年同月から0.3ポイント減少。

(2)労働力人口は3304.8万人、就労者数は2925.4万人、失業者数は379.4万人。

(3)男性の失業率は10.0%、女性は14.6%。若年層(15-24歳)の失業率は21.5%となっている。

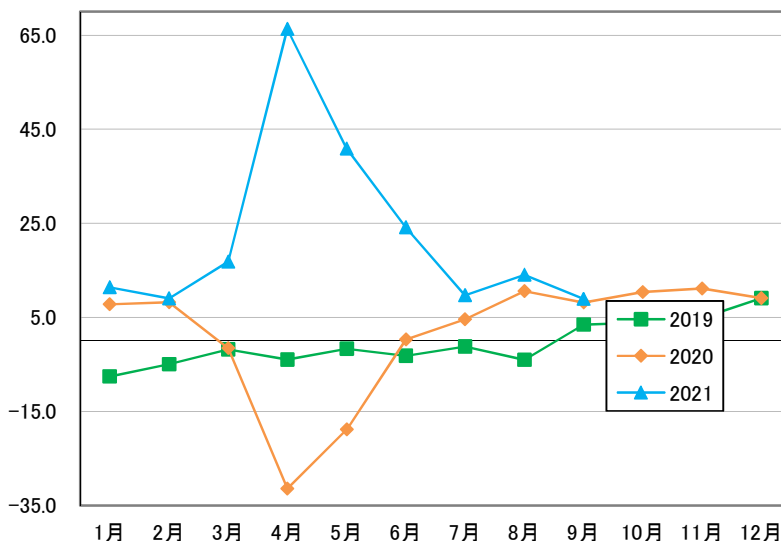
データ:統計庁 単位:%



## 鉱工業生産(9月)

(1)9月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)8.9%増、前月比(季節及び日数調整後)1.5%減。  
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比10.7%増、資本財が同3.9%増、中間財が同13.2%増となった。

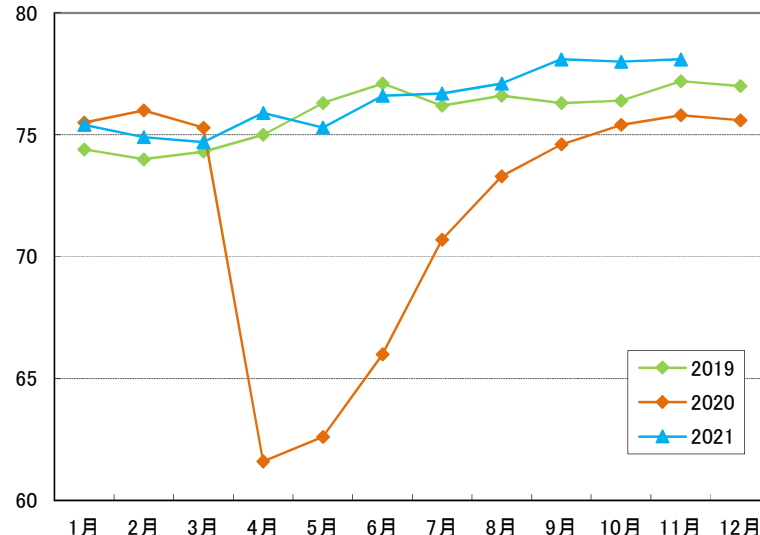
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



## 設備稼働率(11月)

(1)11月の設備稼働率は78.1%となり、前年同月から2.3ポイント上昇し、前月から0.1ポイント上昇。  
 (2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品製造業(家具を除く)(86.2%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品(64.4%)が最も低い稼働率であった。

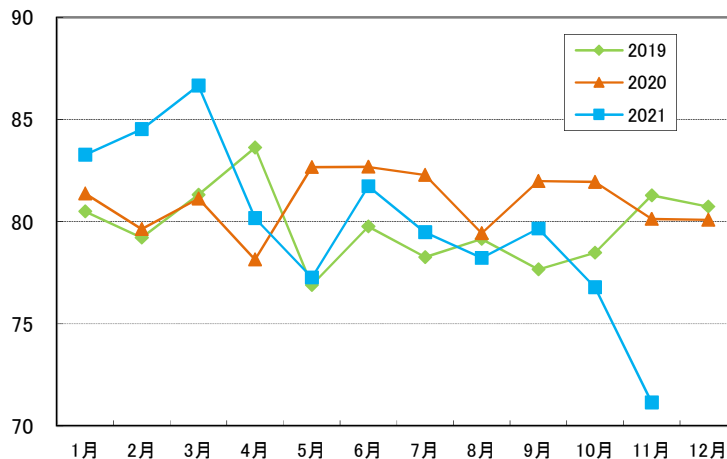
データ:中央銀行 単位:%



## 消費者信頼感指数(11月)

(1)11月の消費者信頼感指数(季節調整値)は71.1ポイントで、前月から5.7ポイント減少。  
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。

データ:統計庁 単位:ポイント



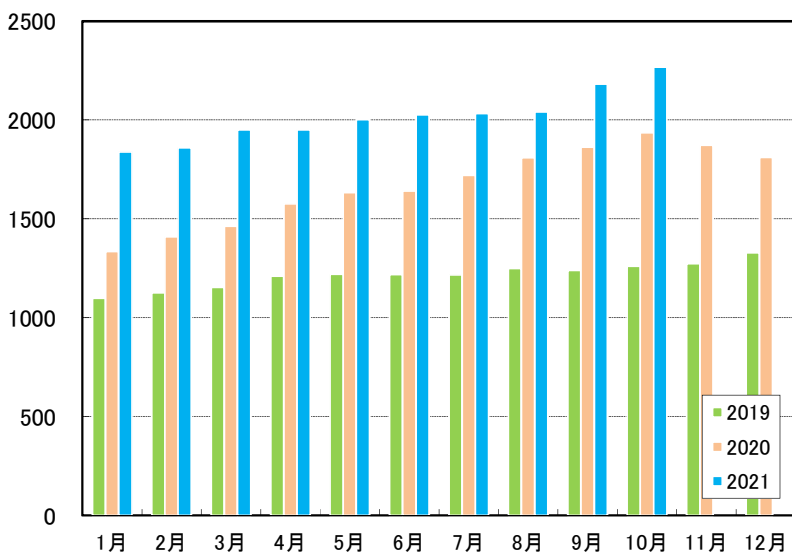
## 中央政府債務残高(10月)

(1)10月末時点での中央政府債務残高は2兆2,687億リラとなり、前月比4.0%増、前年同月比17.3%増となった。

(2)また、国内債務比率は53.1%、自国通貨債務比率は40.0%(2020年末は43.8%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は1.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

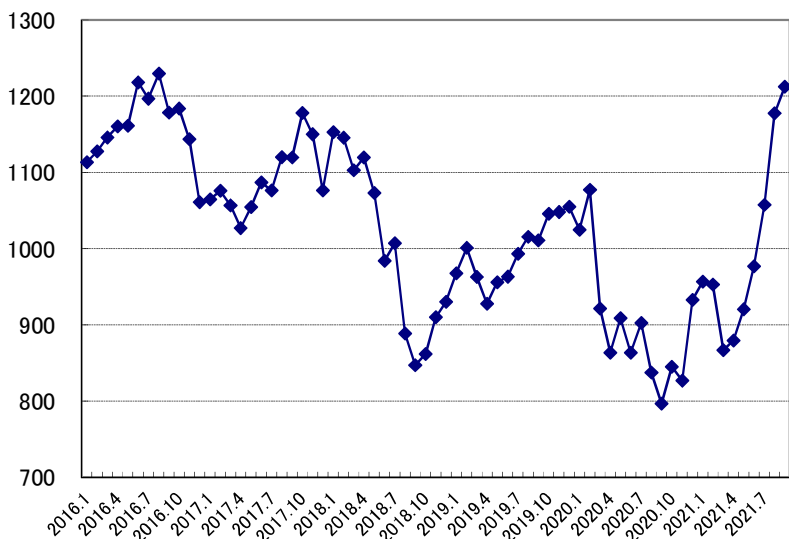


## 外貨準備高(10月)

(1)10月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,239.26億ドルとなった。

(2)前月から26.70億ドル増加し、7ヶ月連続の増加となった。

データ:中銀 単位:億ドル

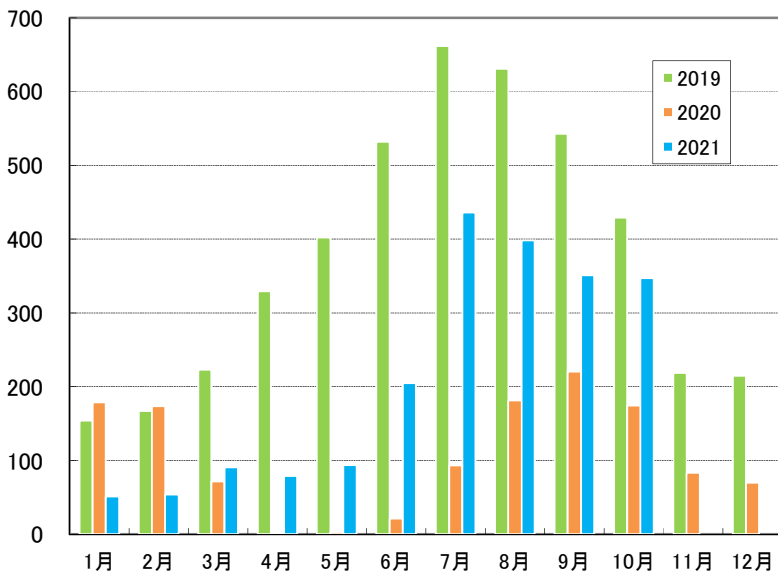


## 外国人訪問者数(10月)

(1)10月の外国人訪問者数は3,471,540人で、前年同月比99.25%増。日本は927人であった(前年同月は377人)。

(2)国別ではロシアが最も多く、905,379人で全体の26.08%を占め、以下、ドイツ(476,370人)、ウクライナ(217,608人)となっている。

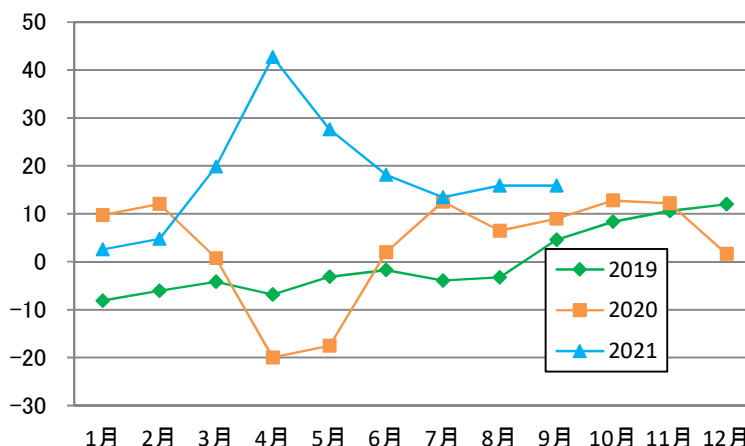
データ:文化観光省 単位:万人



## 小売売上高(9月)

(1)9月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)15.9%増、前月比(季節及び日数調整後)1.2%増。  
 (2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比6.7%増、繊維・衣料が同54.3%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同15.1%増、となった。

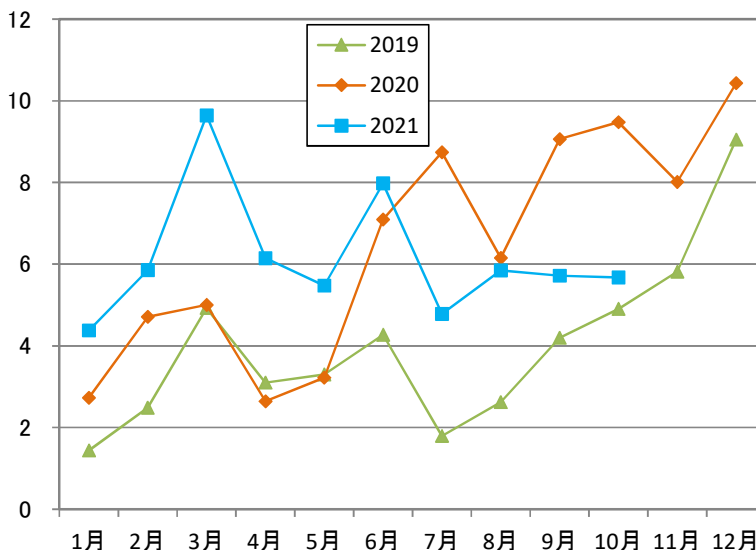
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



## 新車販売台数(10月)

(1)10月の新車販売台数は56,746台で前年同月比40.10%減。  
 (2)10月の内訳は乗用車が40,512台(前年同月比46.9%減)、小型商用車が16,234台(同11.7%減)となった。

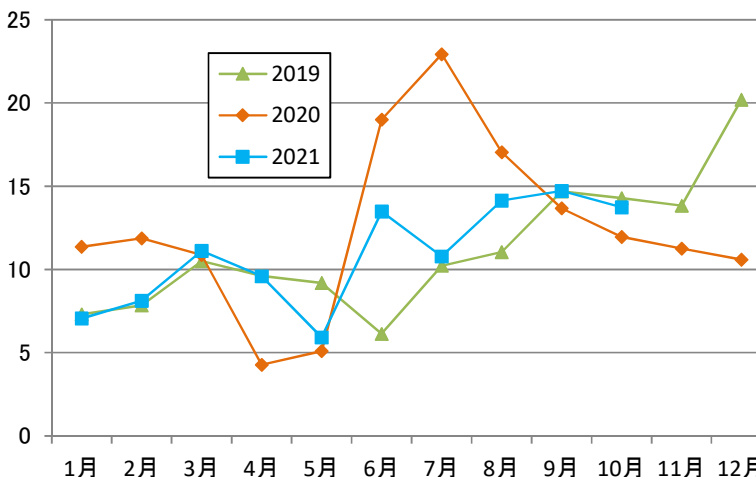
データ:自動車販売協会 単位:万台



## 住宅販売戸数(10月)

(1)10月の住宅販売戸数は137,401戸で前年同月比14.91%増となった。  
 (2)10月は新築が41,914戸(前年同月比13.4%増)、中古が95,487戸(同15.6%増)。  
 (3)10月の住宅ローンでの購入は28,049戸(前年同月比9.7%減)、その他が109,352戸(同16.3%増)。

データ:統計庁 単位:万戸



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。